

YU 夢 YUME

野鳩食む「御感の藤」は盛りに
てお城の鳩はみんな藤色



豊熟のとき



入居者
粕谷ツヤ子

東の空をオレンジ色に染めて陽が昇り、大空は澄み渡り雲の形も色も美しく、一日が始まります。むろん、朝だけでなく一日中、一年中千変万化の自然の美しさを堪能しております。

朝一番はまず絵を描くことから始まります。

長寿園の周辺は山野草が多く、園の庭も草花、花木を熱心に育てて下さる方もいらして画材にこと欠きません。

小田原の町は城址公園をはじめ歴史ある旧家、商店の建物、旧跡が多いので城下町の面影を求めてカメラ持参、スケッチブック持つての画材探しの散策

もくじ

アルモニータエケア	2
私の姉	3
錯綜する高齢者の住まい	4
心とむひととき(棟行楽)	5
長寿園の日々	6

長寿園理念

「人生の目的は円満幸福の生活にある」との信念に基づき、高齢者がそれぞれ円満で幸福な生活ができるよう所要の協力と支援を行うことによって社会に貢献します。

【発行所】
一般財団法人 長寿会
小田原市入生田475
TEL.0465-24-0002(代)
発行人/加藤伸一
編集/「夢」編集委員会

をします。

行事、催し物も多く箱根駅伝の応援に行ったり、祭礼や若者のエッサホイ踊りの撮影に行つてわくわくしながら見物します。

子供みたいに恐竜大好きのは、入生田の地球博物館で大きな恐竜の骨格や地層の不思議に魅せられます。

小田原商店街では市の観光課の後援などで年一回「街展」を開催します。誰でも出品できるので参加します。作品は市内の五つの画廊で展示されるので、友人達にも連絡したり、地元のアマチュア画家達とも歓談しています。

外出しない日は、図書室から本を借りたり、入居者とお茶を飲んだり、趣味の短歌づくりに熱中しています。

八〇も半ばとなって、体調が
〈次ページに続く〉

思わしくない日もあります。高血圧に悩まされたり、転倒骨折も経験しましたが、その都度、理事長先生をはじめ職員の皆様に支えて戴きました。感謝、感謝の日を送ってきました。

協調性とか、人づきあいの苦手な私が、何とか入居生活四年を過ごすことが出来ました。周囲の皆様との不思議な御縁と、思い有難く存じております。



「童話の挿絵」

「葉も茎も傷み
枯れそむ向日葵の
頭もおももと
豊熟のとき」



調和と幸福

アルモニークエ

当園で今まで普通に行ってきたケアは、他の施設ではやっていない個々に着目したケアであることを知りました。これを長寿園のオリジナルケアとして確立しようと、長寿園の理念である「円満幸福な生活」を、イタリア語で（調和）と（幸福）を合わせた造語、アルモニークエ・ケアと致しました。

ケアが必要になった方に基本的な食事・排泄・入浴等、日常生活に必要なケアを提供するだけではなく、一人一人がより健康的で個々に合った日々を過ごせ、当たり前の毎日を当たり前に自分らしく過ごせることが幸せと感じられること、また、元気で自立している方でもその生活がより長く継続できることを目標に、介護予防や交流の場を提供させて頂き、心身ともに健康で居られることを目的としています。

介護保険利用者にはケアプラン、自立者にはサービスプランとしてプランを作成し、お一人お一人の生活状況を把握し報告し合うモニタリングを行っております。

昨年末から試みたばかりで、体感されている方はまだ少数かもしれませんが、一人ずつ穏やかな毎日が幸せと感じて頂けるよう日々努力し個人に着目したアルモニークエ・ケアをより充実させていきたいと思っております。

相談員 佐藤

立礼で
お茶を楽しむ会

新しい入居者も増え、またお茶会をしたいという声があり、昨秋より立礼でのお茶会を始めました。城下町小田原は、お茶の文化が盛んな土地柄、お菓子の銘店もあります。入居者や職員が大切に育てて下さったお花で茶室を飾り季節を味わうことが出来ます。

表千家、裏千家、武者小路千家、宗徧流といろいろなお流儀の方がいますので、これも楽しみの一つです。お稽古を始めたという方、お茶を味わいたいという方、どなたでも気軽にご参加いただけます。今所、月一回第二火曜日の二時から行っています。

お茶が好きな理事長さんをはじめ、入居担当の佐藤さん、学生時代にずっと茶道部だった医療事務担当の若い松本さん等の大きな支えがあった。始めることが出来ました。和気藹藹と続けていければと思います。

入居者 田川 富子

姉は昭和七年に東京で生まれました。一六年に次女、一八年私が生まれ、そして二〇年の終戦。それまでは学童疎開を除いては日常生活面では不自由なく育った姉。やがて父の失職、二一年実母の死、その後父の再婚、弟の誕生、来てくれた母は実母の姉、伯母に当たる人でいつも顔を合わせていた人、しかし、多感な年頃であった姉は、さぞ心に重いものを持つていただろうと察しています。

その頃の姉は、何時でも青白い怖い顔をしていて、何か気に入らないことでもしようものなら、その顔で睨みつけられたことを思い出します。後に本人から聞いた話では「その頃の貧困が嫌で、ひたすら勉強に励み、良い職に就きたい一心だった」との事。その成果もあって某女子



非常勤講師の仕事は続けていました。七三歳になった頃、仕事を続けながら見つけた長寿園のパンフレットを持ってきて「こ

大学に進学しましたが、将来の就職先の選択範囲を考え、次年薬科大学に入り直しました。その大学を卒業すると同時に、助手としてその大学に就職、やがて薬剤師の国家試験に合格しました。仕事の合間に、何やら難しい研究もしていた様です。

十年ほどの後、東京の或る大学の医学部基礎系の教室に転職し、その後医学博士の学位を取得しました。個人的研究も続けていたようです。

紆余曲折もありながらも、最後は「電子顕微鏡室長」と言う肩書で定年退職。医学部教室在学中から先輩教職員からの紹介でやっていた、調理専門学校での

こに行きたい」と言い出し、そして今に至っています。

子供の頃は小遣いをくれ、大学就職後は毎年のように学会等で海外に行っていました。その都度高価なお土産を私にだけ買ってきてくれました。

時として母親代わり、又、長姉として私を見守ってくれた姉、私はなせもっと優しく接し



長寿園創立六〇周年を期に新装された「桜寿亭」にて再開した「お茶を楽しむ会」

ていなかったのかと反省しておりますが、今は、家内がその代りをしてきています。頑固で難しい性格の姉です、さぞかし園の皆様にはご迷惑をお掛けしている事と思いますが、どうか、温かい目で見てやって頂きたいと思えます。

錯綜する 高齢者の住まい



理事長 加藤 伸一

オレオレ詐欺がちつとも減りません。被害者はほとんど高齢者です。自分は大丈夫と思っ
ている人が引つ掛かります。詐欺師もお金のない若者は対象にせず、お金のある高齢者を対象にします。それは、彼らにとってはいい商売相手だからでしょう。三〇年前には、高齢者を対象にした詐欺事件など数えるほどしかありませんでした。それが今では組織化し、大規模化しています。

また、三〇年前には要介護者の数も少なく、介護用品を手に入れるのにアメリカ製を輸入したり、特注したりで、大変でした。ところが今日ではどのホームセンターでも簡単にそれらを手に入れることができるようになりました。そして、製品の種類も実に豊富です。高齢者

がそれだけ大きなマーケットになっており、大量生産や新商品開発に企業がお金を回すからでしょう。資本主義経済は全く現金なものです。しかし、介護用品は、身体的障害を補うものではなく、認知症等の精神的障害を補うものではありません。老化現象は、身体機能だけでなく、判断機能や防衛機能も低下させます。にもかかわらず、介護保険ができるころまでは、人々は住み慣れたところで最期まで住みたいと願っており、それを可能にすることが高齢者福祉にとってのもっともよいとされ、在宅福祉サービスが始まりました。しかし、現実には高齢者のみの世帯で、最後まで自宅に住み続けることは不可能です。近隣の助け合いがあればなんととも言われましたが、近隣が

皆高齢者ではどうにもなりません。若い人は忙しく、高齢者とは生活時間帯が全く異なります。小中学生から見ると、後期高齢者はひいおじいちゃんひいおばあちゃんと総称されるようです。彼らのおじいちゃんおばあちゃんには六〇歳代だろうから当然でしょう。一方、高齢者には自分は高齢者と思うかと尋ねると八〇歳以上の人でも多くが高齢者ではないと回答するそうです。

子供との同居が一般的でなくなった今日、高齢者は無防備の中に置かれています。それが、ようやく分かったのか国も高齢者に早めの住み替えを奨励し始めました。ところが住み替え先が混乱錯綜しています。サービス付き高齢者向け住宅や官民の介護施設等実に種類がさまざまです。国が打ち出す政策を民間が実施するとそれはもう現金なものになります。ますます、混乱錯綜するのです。一見、選択肢が広がったようにも見えますが、種類も内容も千差万別です。高齢者自身はもとより、若いその子供たちでさえ内容の違いを判別するのは難しくなっ

おります。容易にわかるのは値段と建物だけです。選択を誤るととんだミスマッチが起こり、最悪の老後となってしまいます。残念ながら当分この混乱は続きそうです。高齢者が間違えのない住み替え場所を見つけられる仕組みづくりが急務ではないでしょうか。



川柳

自由吟

- 戦争が無い平成の平和ボケ
- 念入りに洗顔したが同じ顔
- しっかりと整頓しても探し物

山下 君子

- 銀杏を捜す楽しみ茶碗蒸し
- 韓国のドラマへ友も評論家
- 裏年でお預けになる

みかん狩り

田中 和子

心利む ひととき

C棟行楽



C棟係長 北村富美江

C棟ご入居者の一日の生活リズムは、毎日午前・午後のデイルームへの参加です。体を動かし歌うことでお腹から声を出し、介護予防に努めています。午前のデイルームへのお誘いは「コーヒーを飲みに行きませんか？」の声かけに皆様が集まり、美味しいコーヒーを頂き、ほっとした時間が始まります。ご入居者同士で談笑し、コミュニケーションをとっておられます。

また、行楽も去年よりご入居者へのアンケートをとり、趣向を変えて行いました。外出先での食事は好みにより和食・洋食を選びお好みのものを召し上がります。その他に、デザートコースとその時々のお花を見ては散策を楽しまれております。今までは違った雰囲気で、「また行きたいですね。連れ

てって下さいね」と大変喜ばれておりました。

皆様が幸せで笑顔が続きますよう、今後もご支援をさせて頂きたいと思っております。

おめでとうござります！ 赤ちゃん誕生

事務局の加藤翔さんに女の子が生まれました。

職員の家族が増えるニュースは、「夢」をさらに明るく希望で満ちたものになります！


見ているだけで思わず微笑んでしまうような、そんな明るいニュースをこれからも紹介していきます。



二六年十月三一日
加藤紗菜ちゃん誕生



「秋の行楽 久野 ざる菊」



- 言いたい事言える姉妹がいて 感謝
- 正直も時にオブラートで包む
- しゃしゃり出たシミへ 気合のパフ叩く 青木千代
- 結果良し風さえ軽い医者帰り
- 娯楽費が食費を超える 老い二人
- 口止めを危うく喉の奥でとめ 雨宮泰子
- パソコンを秘書に余生が 面白い
- 連休を確かめてみる新暦
- 正直に撮れた写真が嫌われる 小池 怜子
- 教え子も老人ホーム探す齡
- 腰痛と膝痛仲の好い姉妹 田川 富子

長寿園の日々



新年会

- 二月一四日 十字町教会歌のプレゼント
- 二月二三日 歌声の部屋
- 二月二四日 クリスマス会食会
- 二月二五日 クリスマスコンサート
- 一月一日 初顔合わせ
- 一月十日 新年会
- 一月二一日 だんご焼き



歌声の部屋



新年会



初顔合わせ



クリスマスコンサート



だんご焼き



十字町教会歌のプレゼント



クリスマスコンサート

編集 後記



葛西紀明選手が昨年一月二八日W杯ジャンプで三位となり、今季初の表彰台。翌日二九日の三戦目で優勝。最年長優勝記録を四二歳五ヶ月に更新しました(これまでは自身の持つ四一歳七ヶ月)。

そして今年一月四日のW杯ジャンプで三位に入り、続く六日では二位となり、大会を通して最年長表彰台記録を更新。葛西紀明選手はソチ五輪でラージヒル銀、団体で銅を獲得し、冬季五輪においては史上最多の七連続七度目の出場を果たしました。

長寿園でも勤続十年以上の職員が多数在籍、中には三十年にわたる者もおります。若手も戦力として結果を残しており、これからもベテランと若手とが協力して長寿園の発展に寄与してまいります。

二〇一五年(平成二七年)二月

「夢」通信編集委員